

E-FIELD

Education For Implementing End-of-Life Discussion

ロールプレイ1

もしも、のときについて
話し合いを始める

このセッションの内容

- ACP導入部分についてレクチャー
 - 事例提示
 - 二人組みでロールプレイ
 - フィードバック
- } 2回

目的

- 生命の危機がある疾患に直面している患者・家族と今後の人生、生活、医療について話し合うことができる。

概要

- 一般的なルール
- 病状の認識を確かめる
- 話し合いを導入する
- 代理決定者を選定する
- 療養や生活での不安・疑問を尋ねる
- 療養や生活で大切にしたいことを尋ねる
- 治療の選好を尋ね、最善の選択を支援する
- 代理決定者の裁量の余地について尋ねる

概要

- 一般的なルール
- 病状の認識を確かめる
- 話し合いを導入する
- 代理決定者を選定する
- 療養や生活での不安・疑問を尋ねる
- 療養や生活で大切にしたいことを尋ねる
- 治療の選好を尋ね、最善の選択を支援する
- 代理決定者の裁量の余地について尋ねる

一般的なルール…

- 礼儀正しく、丁寧に
- 患者・家族の防衛機制に応じて**侵襲的で
ない**コミュニケーションを
- 表情、動作に留意し空気を読む
- つらそうな反応や言動があったらそこで止める
- もしよろしければ～について伺いたいの
ですが
- もしも・・・万が一・・・

一般的なルール

- 相手の感情に留意
 - 表情、視線、しぐさ
- 感情に気づいたら、感情への対応を優先する
 - 止まったら、自分も止まる
 - これをおろそかにすると、質の高いコミュニケーションは難しい
 - 時には時間の浪費になってしまうことさえある

一般的なルール

- まず経験を尋ねる
 - その内容を探索する
- 最善を期待し最悪に備える
 - Hope for the best, Prepare for the worst.
 - まず患者・家族の希望や大切にしていることを尋ね、探索し、共感し、理解する
 - そのうえで、今後の病状の変化に備えて、もしもの時についての話を切り出す

Back AL, Arch Int Med 2007

概要

- 一般的なルール
- 病状の認識を確かめる
- 話し合いを導入する
- 代理決定者を選定する
- 療養や生活での不安・疑問を尋ねる
- 療養や生活で大切にしたいことを尋ねる
- 治療の選好を尋ね、最善の選択を支援する
- 代理決定者の裁量の余地について尋ねる

病状理解を尋ねる

- 病状についてどのように説明を受けていらっしゃるでしょうか？
- 今後の治療についてどのように説明を受けていらっしゃるでしょうか？
- ○○さんの病状についてはカルテを読ませていただいたので、大体のことは承知しているのですが、今後のことをご相談するために○○さんが病状をどうとらえていらっしゃるのかを伺いたいと考えています

概要

- 一般的なルール
- 病状の認識を確かめる
- 話し合いを導入する
- 代理決定者を選定する
- 療養や生活での不安・疑問を尋ねる
- 療養や生活で大切にしたいことを尋ねる
- 治療の選好を尋ね、最善の選択を支援する
- 代理決定者の裁量の余地について尋ねる

経験を尋ねて探索する

- 万が一の時のことを考えてお聞きするのですが、
 - 前回と同じような状況になった時のことを～
 - 病状のために身の回りのことをすることができない状態になった時のことを～～お考えになったことがありますか？
 - もしよろしければ、詳しく教えてください
- もしもの時のことについて、これから相談をしていきたいと思うのですがよろしいでしょうか？

経験を尋ねて探索する

- お身内やご友人の方で、（テレビなどで）重い病で危篤になられた方をご覧になった経験はありますか？
 - そのときにどんなことをお感じになりましたか？それはなぜですか？詳しく教えてください
- ご自分が同じような状態になられたら、どうしようとお考えになったことはありますか？
- もしもの時のことについて、これから相談をしていきたいと思うのですがよろしいでしょうか？

ロールプレイをしてみよう

- このロールプレイは以下の3点に着目して行います
- 一般的なルールを使ってみる
- 病状の認識を確かめる
- もしものときについて話し合いを導入する

事例 1…

- 82歳男性、高血圧、高脂血症、心房細動、陳旧性心筋梗塞、脳梗塞後遺症で加療中
- 10年前に心筋梗塞を発症、冠動脈ステントが留置されている。8年前に脳梗塞を発症し、左片麻痺となったが、リハビリで歩行可能な状態となった。左半身の筋力低下は残存している
- 徐々に全身状態が悪化し、嚥下機能も低下してきている
- 先月誤嚥性肺炎で入院。この1年で2回目の入院であった。加療され、2週間で退院

事例 1…

- 主治医は、今後も肺炎を繰り返す可能性が高いと判断
- 全身の動脈硬化も進んでおり、再び脳梗塞、脳出血、虚血性心疾患を発症するリスクが高いと考えている
- 今日退院後初めての外来。今後の治療療養、家庭での生活を話し合う目的であなたのところに来た

ロールプレイ 1

- 2人組を作ってください
- まず、Aさん、Bさんを決めてください
- まず個人で作業をします。自分が相談員だったとしたら、どんな言葉で話し始め、どのように声掛けをするか、7分間で書き出してみましよう

ロールプレイ 1

- Aさんは患者役
- Bさんは医療従事者役です

先ほど提示した情報以外は、自由に設定して構いません。

2分間で役になりきってください

ロールプレイ 1

- 役になりきる : 2分
- ロールプレイ : 10分
- フィードバック : 5分
- 全体での振り返り : 3分

ロールプレイ 1

- では、開始してください。時間は10分間です。時間が余ったら役を解かず、患者と医療従事者の関係で世間話を続けてください

フィードバック

- 一般的なルールを使ってみる
- 病状の認識を確かめる
- 話し合いを導入する

について、どのような点がよかったか、どんな話し方が有効だったか、改善すべきところはどこかを話し合ってください。医療従事者役のスキプトを修正してみてください

役割を交代しましょう

- Bさんは患者役
- Aさんは相談員役です

先ほど提示した情報以外は、自由に設定して構いません。

2分間で役になりきってください

ロールプレイ 1

- 役になりきる : 2分
- ロールプレイ : 10分
- フィードバック : 5分
- 全体での振り返り : 3分

ロールプレイ 1

- では、開始してください。時間は10分間です。時間が余ったら役を解かず、患者と医療従事者の関係で世間話を続けてください

フィードバック

- 一般的なルールを使ってみる
- 病状の認識を確かめる
- 話し合いを導入する

について、どのような点がよかったか、どんな話し方が有効だったか、改善すべきところはどこかを話し合ってください。医療従事者役のスキプトを修正してみてください

まとめ

- 生命の危機がある疾患に直面している患者・家族と今後の人生、生活、医療について話し合うことが重要である
 - 非侵襲的なコミュニケーションを心がける
 - 経験を聞き、探索する
 - 万が一、もし・・・としたら
 - 最善を期待し最悪に備える
 - 話し合いを切り出すことができる